

地域づくり特集号

3.1

令和6年
(2024年)



進む・アップデートする 地域づくり

進む地域づくり

本市が進めている「地域づくり推進事業」は、「地域づくり推進会議」*を通じて、地域の魅力や課題を再発見・共有しながら、活動団体や住民同士のつながりを増やし、地域と行政が協働するしくみをつくっていくためのものです。

現在、長房・川口・みなみ野・南大沢の4つの中学校区に推進会議を設置しており、先行する長房・川口中学校区では、地域のありたい姿を実現するための行動計画である「地域づくり推進計画」に基づき様々な取組を実施。推進会議参加者だけでなく、地元企業や市の関連部署と連携した取組へと広がっています。また、みなみ野・南大沢中学校区では、今年度「地域づくり推進計画」を策定し、具体的な取組実施に向けた検討を進めています。

4つの推進会議の状況も踏まえ、今後他の中学校区も、順次推進会議を設置していきます。

※地域づくり推進会議って？

原則、中学校区を範囲とし、町会・自治会をはじめ様々な団体や住民が集まり、地域に関する議論を行う場として、本市が設置を進めている会議体です。
(本特集号では、以降「地域づくり推進会議」のことを「推進会議」とします。)



▲推進会議のイメージ 出典：第2回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会資料

アップデートする地域づくり

地域づくりに関わる活動の例

防災 × 地域づくり



▲検討を重ね、分かりやすいハザードマップに

川口中学校区の推進会議での議論をもとに、地域の防災力向上のため、行政が作っているハザードマップに、地域住民ならではの地域の情報を追加していく等、地域でアップグレードする活動が始まっています。

今、まさに話し合っています。行政のマップは、防災課の方を招いて見方を教えてもらったこともありですが、一目では分かりづらいできれば、ピクトグラムを用いたり、高齢者が安全に避難できるルートを入れたりするなど、「誰にとっても分かりやすい」マップにしていきたいと思っています。

地域防災部会で取組む、ハザードマップのアップグレードはどんな内容ですか

大災害のときは、まず近隣の人たちで助け合うことになるため、町会単位での防災活動は自分事として考えやすいと思います。
一方、中学校区という単位で防災の取組を行うことは、もう少し広い地域での助け合いのために価値のあることだと感じています。

これまでの地域での町会等による防災の取組と、地域防災部会での取組について、どう思いますか

災害はいつ起こるか分からない。地域の減災が重要だと考え、そのための役に立てればと思っ、地域防災部会に入りました。

推進会議を通じた取組として「地域防災部会に入ったのはどうですか

課題だと思えます。

今後の地域をより住みやすく、良い地域にしたい思いがありました。町会にも関わっていて、推進会議が立ち上がる時に声をかけられたのがきっかけです。地域を活性化したい思いもあって、推進会議は町会より広いエリアの取組なので、そこでやったことを町会の方にもフィードバックしたい思いもありました。

推進会議で話したことは町会の会合でも、かいつまんで話していますが、推進会議の取組が広く多くの人に知られていないのは、課題だと思えます。

推進会議に参加した理由ときっかけを教えてください



川口中学校区
地域づくり推進会議
地域防災部会
田倉 聖一さん

推進会議の参加者で、地域防災部の部会長をしている田倉です。
美山町会の会長も務めています。

簡単に自己紹介していただけませんか

企業との連携の例

スーパーアルプス × バーゼル洋菓子店 × 地域づくり

長房中学校区の推進会議での議論をもとに、地域で「食」を通じて多世代の交流を増やしなが、「食」の困りごとを減らしていくため、「みんなの食堂」の活動がはじまっています。この活動は地域の商業施設(コピオ長房)を運営する株式会社スーパーアルプスや有限会社バーゼル洋菓子店にもご協力いただいています。



▲第1回開催時には、地元の小学生約50名が参加

ケーキや焼き菓子、お料理、コーヒーなど、食と空間の提供を通して心豊かで上質な日常を作るお手伝いをさせていただきます。

みんなの食堂に協力するに至った経緯や理由を教えてください

弊社は創業から60年経とうとしています。地域あつてのBASEL

御社について 簡単に紹介ください



有限会社バーゼル洋菓子店
広報・企画
ソーシャルグッド部
佐藤 有美さん



▲「みんなの食堂」のポスター

生活に馴染んだ企業が関わること、様々な世代が無理なく楽しく、地域の催しなどに参加できることが大切と考えます。

今後、企業と地域、行政が連携していくにあたり、どのような効果を期待しますか



▲提供したカレーライスとケーキ

企画段階では心配もありますが、最終的に人と人との関わりは心温まります。

地域の活動と御社との調整等に関わり、佐藤さんが大変だったことや、感じたことはありますか

BASELのケーキが皆様の幸福の一端を担っているとしたら、それは、私たちにとっての幸福感につながると思いました。

御社について 簡単に紹介ください

皆様と一緒に「暮らすように」企業として、地域に根付くことができたらと思います。

みんなの食堂にご協力いただき、御社として効果があった、良かったことはどのようなことでしょうか

「みんなの食堂」に協力していただくことで、地域で「食」を通じて多世代の交流を増やしなが、「食」の困りごとを減らしていくため、「みんなの食堂」の活動がはじまっています。この活動は地域の商業施設(コピオ長房)を運営する株式会社スーパーアルプスや有限会社バーゼル洋菓子店にもご協力いただいています。

コピオ長房の創業にあたり、バーゼル洋菓子店様と共に、「地域コミュニティ」の場、居心地のいい場所をコンセプトにコピオテラス(交流スペース)を設置しました。コピオテラスを活用した多世代交流、地域活性化のサポートを考えていたところ、推進会議のプロジェクトとなり、協力することにしました。

みんなの食堂に協力するに至った経緯や理由を教えてください

昭和25年に創業し、「私たちは豊かな食生活を支援し、地域社会に貢献します」を企業理念に、地域のお客様のかけがえない存在になれるように努力しながら、時代の変化に応じてお客様がストレスなく、楽しく買物できる環境づくりも進めています。

御社について簡単に紹介ください

弊社は、八王子市を中心に都内多摩地区及び、神奈川県、埼玉県で29店舗のスーパーマーケットを展開しています。



株式会社スーパーアルプス
店舗開発部 課長
石井 綾子さん

あくまで主役は地域の方々です。企業、行政が連携して、それぞれの役割を担うことで地域主導の地域づくり、活性化が進むことを期待しています。

今後、企業と地域、行政が連携していくにあたり、どのような効果を期待しますか

みんなの食堂にご協力いただき、御社として効果があった、良かったことはどのようなことでしょうか

地域の方と接点ができ、生のお声を店舗運営に反映できたり、情報を直接届けられるようになりました。コピオ長房が地域と共に成長発展できると思います。また行政と共に支援することで地域活性化や共創のお手伝いもでき、地域の方に寄り添った貢献ができると考えています。

地域の活動と御社との調整等に関わり、石井さんが大変だったことや、感じたことはありますか

「みんなの食堂」に参加された方(お子様、高齢者、運営ボランティア)からの「ありがと」の一言が本当に嬉しかったです。

ただ、そこに行きつくまでに、関わる人の立場、役割、想いを理解して伝えること、全てが初めてで大変でした。将来への問題意識、使命感を持って活動する方々を尊敬しますし、元気をもらえます。

御社について 簡単に紹介ください

「みんなの食堂」に参加された方(お子様、高齢者、運営ボランティア)からの「ありがと」の一言が本当に嬉しかったです。

「地域づくりフォーラム・意見交換会 in 八王子」を開催！

本市が掲げる「地域自治」の考え方や推進会議、地域の活動団体の取組を紹介し、地域と行政の将来的なあり方を考えるきっかけとなるよう、令和5年(2023年)8月20日に東京たま未来メッセで「地域づくりフォーラム・意見交換会in八王子」を開催しました。

当日は263名の方々にご来場いただき、学識経験者等による基調講演のほか、推進会議参加者や市長によるパネルディスカッションなどを行いました。

また、東京都立大学、法政大学の学生と地域で活動する14団体がポスターセッション形式で活動紹介をしながら来場者と意見交換を行い、交流の場にもなりました。



▲大学生から見た地域づくりの魅力や課題を紹介

みなみ野・南大沢中学校区地域づくり推進計画ができました！

長房・川口中学校区に続き、みなみ野・南大沢中学校区でも「地域づくり推進計画」が完成しました。

推進計画策定のさらなる効果向上や策定後のスムーズな運用のため、2地区の推進会議で検討を重ね「計画をイメージアップするためのデザイン」や「取り組むプロジェクトを無理なく進めていく方法」等の工夫をしました。

今後、住民の皆さんと行政、企業、様々な団体と連携し、地域の課題解消や魅力向上のための取組を進めていきます。



▲計画の中には、参加者の地域への「思い」(左上)や座談会の様子(右上)を掲載するなど、イメージアップの工夫が満載

基本方針をアップデート(改定)！



▲新しい地域づくりのビジョンやその実現に向けて必要な市の施策など、活発な意見交換がされる懇談会

令和5年度(2023年度)から「八王子未来デザイン2040」がスタートしたことや、これまでの地域づくり推進事業の経過や現状を受けて、基本的な考え方や取組方法などを定めた「八王子市地域づくり推進基本方針」(令和2年(2020年)3月策定)の改定作業を進めています。

改定にあたっては、市の組織横断的に検討を進めるだけでなく、推進会議参加者や学識経験者、市内で様々な活動をしている方にもご参加いただき「八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会」を開催し、ご意見をいただいています。



▲検討状況はこちらから

地域づくり推進事業に関する情報

ここでは紹介できなかった地域づくり推進事業に関する詳しい内容や推進会議を設置した4中学校区の取組状況等は、市ホームページまたは右の二次元コードからご覧いただけます。

